

## 平成26年3月期 第1四半期連結業績 補足資料

(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

## 1. 連結第1四半期損益

(億円：%)

	25/3期 第1四半期 実績	26/3期 第1四半期 実績	増 減		26/3期 第1四半期 計画	計画比 増減
			金額	率		
売上高	340	348	+ 8	+2.2	374	△26
国内	297	291	△ 6	△2.2	286	+ 5
海外	43	57	+14	+33.4	88	△31
売上総利益	114	114	0	-	115	△ 1
粗利率	33.6%	32.9%	△0.7%	-	30.7%	+2.2%
販管費	102	105	+ 3	+2.8	109	△ 4
営業利益	12	9	△ 3	△24.0	6	+ 3
金融収支	△ 2	△ 2	0	-	△ 2	-
他営業外	2	6	+ 4	-	2	+ 4
経常利益	12	13	+ 1	+13.6	6	+ 7
特別利益	2	0	△ 2	-	0	-
特別損失	△ 1	0	+ 1	-	0	-
税前四半期純利益	13	13	0	-	6	+ 7
税、税調整額他	2	3	+ 1	-	0	+ 3
四半期純利益	15	16	+ 1	+7.1	6	+10

## 1) 前年同期比

(1) 売上高：前期比 8 億円増収の 348 億円 (+2.2%)

- ・国内売上高は、前期比 6 億円減収の 291 億円 (-2.2%)。

前年同期に完工があった大型施設工事物件が今期無かったことから施設工事において 21 億円減収したが、農業機械は、戸別所得補償制度の定着や米価の高値推移等による農家所得の改善、前年度から続く復興需要などの好調な需要を背景として、トラクタを中心に全体で 7 億円増加。作業機・部品も、トラクタの増加に連動して 5 億円増加。

- ・海外売上高は、前期比 14 億円増収の 57 億円 (+33.4%)。

製品地域別には、北米市場は、昨年 11 月から出荷開始したユーティリティトラクタの投入効果などにより 13 億円の増加。中国・その他アジアは各々 1 億円増加し、欧州・豪州は前期並み。

(2) 営業利益：前期比 3 億円減益の 9 億円 (-24.0%)

経常利益：前期比 1 億円増益の 13 億円 (+13.6%)

- ・営業利益は、増収および円高修正による収益改善効果があったものの、開発費等の固定費の増加に加え、物流費や人件費等、販管費の増加により 3 億円減益の 9 億円。
- ・経常利益は、営業利益が減少したものの為替差益の発生等により、1 億円増益の 13 億円。

(3) 四半期純利益：前期比 1 億円増益の 16 億円

- ・四半期純利益は、1 億円増益の 16 億円。

2) 計画比

(1) 売上高：計画比 26 億円減収の 348 億円

- ・国内売上高は、農業機械は農機製品がほぼ計画通りに推移したほか、作業機・部品が 3 億円増加し、5 億円増収の 291 億円。
- ・海外売上高は、中国市場が補助金政策の発表遅れや一部製品での補助金減額等の影響により前期比微増にとどまり計画比 29 億円の減収。また、北米市場向けトラクタの出荷時期ずれの影響や欧州市場での需要が引き続き低調であったことから、全体で 31 億円減収の 57 億円。

(2) 営業利益、経常利益、四半期純利益

- ・営業利益は、海外子会社の減収による収益悪化を国内生産・出荷増による粗利率の好転や販管費の減少等によりカバーし、3 億円増益の 9 億円。
- ・経常利益は、営業利益の増加に加え、為替差益の増加により 7 億円増益の 13 億円。
- ・当期純利益は、10 億円好転の 16 億円。

(売上内訳)

(億円)

	25/3 期 第1四半期 実績	26/3 期 第1四半期 実績	増減	26/3 期 第1四半期 計画	計画比 増減
農業機械	152	159	+ 7	159	-
作業機・部品	63	68	+ 5	65	+ 3
施設工事	27	6	△21	4	+ 2
その他	55	58	+ 3	58	-
国内 計	297	291	△ 6	286	+ 5
北 米	14	27	+13	29	△ 2
欧 州	9	9	-	11	△ 2
中 国	11	12	+ 1	41	△29
その他アジア	2	3	+ 1	2	+ 1
豪州他	1	1	-	1	-
製品 計	37	52	+15	84	△32
補修部品	3	3	-	3	-
その他	3	2	△ 1	1	+ 1
海外 計	43	57	+14	88	△31
合 計	340	348	+ 8	374	△26

## 2. 平成 26 年 3 月期 業績予想

- 当第 1 四半期は、売上面では中国の補助金政策の発表遅れや一部製品の補助金減額等により計画比減収となっておりますが、収益面では販管費の発生遅れや為替評価益等により、計画を上回る実績となっております。今後の見通しにつきましては、国内外の景気の動向による売上高の変動や為替の変動、原材料値上り等の収益を下押しする懸念など不透明な要素が多いことから、平成 25 年 5 月 13 日に公表しました業績予想につきましては、修正しておりません。

### 【平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想】

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日) (億円：%)

	25/3 期 第 2 四半期 累計実績	26/3 期 第 2 四半期 累計予想	増 減	
			金額	率
売 上 高	804	835	+31	+ 3.8
国 内	694	680	△14	△ 2.1
海 外	110	155	+45	+41.0
営 業 利 益	41	32	△ 9	△22.0
経 常 利 益	38	32	△ 6	△16.3
当 期 純 利 益	30	19	△11	△37.4

### 【平成 26 年 3 月期通期連結業績予想】

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) (億円：%)

	25/3 期 実績	26/3 期 業績予想	増 減	
			金額	率
売 上 高	1,557	1,630	+73	+ 4.7
国 内	1,330	1,350	+20	+ 1.5
海 外	227	280	+53	+23.7
営 業 利 益	51	55	+ 4	+ 6.9
経 常 利 益	54	50	△ 4	△ 7.7
当 期 純 利 益	40	34	△ 6	△14.6

\* 想定為替レートは、対米ドル=95 円(継続)、対ユーロ=125 円(継続)としております。

以 上